



井澤社長(右)が子供たちに文房具セットを贈った

中村組が文具寄贈

元吉原小の新1年生に

富士市田中新田の中村組(井澤省史代表取締役社長)は2日、元吉原小(吉野和美校長)へ、新入学児童のための文房具40セットを寄

贈した。

井澤社長と齋藤勝管理本部長、佐藤敏之室

長が同校を訪れ、児童代表の久保田楓さん、遠野瑞華さん、志太皇月、杉本誠太さんの5年生4人に手渡した。

文房具セットは鉛筆1ダース、消しゴム2個、クリアファイル3枚、ノート2冊。鉛筆には「にゅうがくおめでとう」「あかるいえがおで げんきなあいさつ」と入学を祝うメッセージが記されている。

井澤社長は「文房具には、新1年生が元気に勉強やスポーツを頑張れるように」との思いを込めた。元吉原地区の皆さんには日頃から大変お世話になっているので、寄付を通して恩返しをしたい」と思いを伝えた。

久保田さんは「毎年ありがとうございます。1年生のときにももらったことを思い出しました。新しい1年生にも大切に使うように伝えたいです」と感謝した。

吉野校長は、文房具を4月7日の入学式後に新入学児童36人に贈ると説明。「地域の中で子供たちを見守り、育てる環境が整っているのは本当にありがたい」と話した。

寄贈は同社のスローガン「地域とともに未来(あす)を拓く」に基づき地域貢献活動の一環として毎年実施している。平成29年には創業100周年を記念して同校に10万円を寄付した。